

平成25年度 第1回市川市自立支援協議会 会議録（概要）

- 1 開催日時：平成25年5月30日（木）13時35分～15時50分
- 2 場 所：急病診療・ふれあいセンター2階 第2集会室
- 3 出席者：朝比奈委員、磯部委員、植野委員、内野委員、大井委員、檀淵委員、木下委員、金委員、小井土委員、佐々木委員、永井委員、長坂委員、深澤委員、保戸塚委員、松尾委員、三田委員、三浦委員、宮本委員、森田委員、山崎委員、関口夏樹氏
事務局：市川市 障害者支援課（木塚主幹、高橋主幹、新正主幹、渡辺主幹、池澤副主幹）障害者施設課（鷺沼主幹）松香園（牧野園長）
傍聴：1名
- 4 議 事：
 - （1）開会
 - （2）委員の交代と事務局職員の異動について
 - （3）各専門部会および障害者団体連絡会からの報告
 - （4）今年度の重点的な取り組みについて
 - （5）その他
 - （6）閉会
- 5 提出資料：
 - （1）相談支援部会資料（相談支援ガイドライン案を含む）
 - （2）生活支援部会資料（送迎に関するアンケートのまとめを含む）
 - （3）就労支援部会資料
 - （4）障害者団体連絡会資料
 - （5）市川市自立支援協議会の運営に関する要綱
 - （6）自立支援協議会委員名簿
 - （7）障害者差別をなくす法律・条例を考えるフォーラムチラシ
 - （8）映画「普通に生きる」上映会チラシ
 - （9）中核地域生活支援センター大会 in2013 チラシ
 - （10）あみ第17回全国大会 in ちばチラシ

【開会 13時35分】

【議事（1）開会】

山崎会長：皆さんこんにちは。ただいまより、平成25年度第1回自立支援協議会を開催いたします。今日は議題も多いので、皆さんのご協力をお願いします。まずはじめに委員の交代について、事務局のほうからご報告いただいたあと、今回初めてご出席の方もいらっしゃいますので、ひと通り自己紹介をお願いしたいと思います。

【議事（2）委員の交代と事務局職員の異動について】

池澤副主幹：このたび、人事異動等により、委員の交代がございましたので、ご紹介させていただきます。まず、グループホーム等連絡協議会からご出席いただいていた柴田委員に代わりまして、宮本委員。次に、障害者団体連絡会から松の木会会長の遠藤委員にご出席いただいていたが、会長の交代によりまして、櫃淵委員。次に、県立船橋特別支援学校の三嶋委員に代わりまして、深澤委員にご出席いただいております。委員の交代は、以上です。

山崎会長：ありがとうございます。それでは、ひと通り委員の自己紹介をお願いいたします。

各委員：（自己紹介）

山崎会長：ありがとうございます。続きまして、事務局の異動もあつたようですので、事務局職員の自己紹介もお願いいたします。

事務局職員：（自己紹介）

山崎会長：ありがとうございます。今年度も、よろしく願いいたします。

【議事（3）各専門部会および障害者団体連絡会からの報告】

山崎会長：それでは、続いて各専門部会と、障害者団体連絡会からのご報告をいただきたいと思いますが、今回は、ひと通りご報告を受けた後に、特に大きなテーマである「相談支援のガイドライン」について、「送迎」に関するることについてはあらためて時間を設けて意見交換したいと思います。それでは、相談支援部会からお願いします。

○相談支援部会からの報告

朝比奈委員：ここでは、平成24年度の活動報告と25年度の活動予定について報告し、このあとの時間に相談支援ガイドライン案について詳しく説明します。

（資料に基づいて報告）精神科病院からの地域移行支援協議会については、事務局のほうから報告をお願いします。

池澤副主幹：今日は、酒井委員と木本委員がご欠席のため、代理で報告させていただきます。平成25年度からは地域体制整備コーディネーターが廃止になりましたが、地域移行支援協議会は継続になったので、その中でコーディネーターの役割を果たしていくことになりました。協議会では、主に相談支援事業者リストの作成と、市川圏域における地域移行支援の現況調査として、病院や相談支援事業所や行政にアンケート調査を実施しております。

○生活支援部会からの報告

松尾委員：A4版横の資料をご覧ください。昨年度の活動と今年度の予定について一覧表にまとめています。(資料に基づいて説明)送迎に関しては、この後の議事で報告させていただきます。

○就労支援部会からの報告

小井土委員：(資料に基づいて報告)

○障害者団体連絡会からの報告

大井委員：(資料に基づいて報告)

山崎会長：ありがとうございました。それではここまでのことで、何かご質問等ありますか。(挙手なし)では後でまた何かあればお願いします。

【議事(4)今年度の重点的な取り組みについて】

山崎会長：それではここからは、大きな課題である「相談支援ガイドライン」と「送迎」についてご報告いただきたいと思います。

朝比奈委員：それではポイントを中心に、相談支援のガイドラインの案を説明します。
(ガイドライン案の要点を説明)

山崎会長：ありがとうございました。こちらについてのご質問、ご意見等ありますでしょうか。

植野委員：横の表になっているところは、ページの綴じ方を逆にして欲しいんですね。読みやすいようにお願いします。

朝比奈委員：作成された方から、ご意見をお願いします。

松尾委員：計画相談支援の部分を担当しました。皆で協力しお互いに検討しながらここまでこぎつけました。今後は市川市ならではの地域性を意識しながら、改善していけたらと思います。

保戸塚委員：いろいろなことを網羅してボリュームが大きくなっていますが、使いやすい形に整理したり簡素にしていけたらと思います。初心者の方の相談支援専門員を

対象としたガイドラインなので、これを読み込んでもらえれば確実にこなしていけると思うし、日常的に使ってもらうには良いかなと思います。

山崎会長 : 絵になっているところなど概念的に理解するには良いと思いますね。

長坂委員 : これにかかわったことで、逆に市川の弱点を認識できたと思うし、そういうことも今後書いていけたらと思います。

山崎会長 : 特に初期相談の役割がよく整理されていると感じます。

朝比奈委員 : 配布の仕方ですが、特定相談支援の指定は市がしますので、新規指定の際には事業所に市から渡していただく。それと、市の内部の手続きが終わったら、ホームページにアップしていただくことになっているので、相談支援専門員さんもダウンロードして手に入れていただけます。ただ作っている立場からすると、まだまだ不十分なのでこれ自体良くしていきたいというのと、当事者や家族の方が見たときに、縁遠いものを感じられる部分も多いので、普及にあたっては違う何かを考えなきゃいけないとか、課題はいろいろあるんですが、とりあえず平成 25 年度版としてはこの形です承いただければ、配布したいと思います。

山崎会長 : ありがとうございます。同じ基礎の上に立つとりかかりとして、このガイドラインを活用して前に進んでいきたいということで、皆さんよろしいでしょうか。

植野委員 : 当事者が障害者団体連絡会から選ばれて自立支援協議会に参加しているプロセスも、一文入れていただきたいと思います。他の市へのモデルになるのではないかと思います。

朝比奈委員 : 75 ページの自立支援協議会の項に書いてありますが、もう少し記述を充実させたいと思います。よく見ると、言葉が「障害者総合福祉法」になっていたりするところもあるので、精査したほうがいいかもしれません。

三田委員 : ガイドラインの窓口から始まって、次の段階がどうなって…というような順序で、いろいろな課題がどういうものがあるのか。ガイドラインは大事なもののだけれど、皆さんが納得しないと絵に描いた餅になってしまうのでは。もう少し分かりやすく説明してもらいたい。

山崎会長 : 誰が説明するのかというと、相談支援事業者ですが、その人たちに説明するものがこのガイドラインなんです。

三田委員 : ガイドラインというのが軽く使われているので、前に進むべきものが先送りになっているのが定番。そういうものを作るなら分かりやすくして欲しい。

山崎会長 : 利用者さんに対する説明の場については。

朝比奈委員 : たいへん大事なことだと思います。相談支援部会としても、団体連絡会の人たちと相談しながら、そういう場をつくっていききたいと思います。

宮本委員 : このガイドラインは、グループホームの世話人に渡すことも可能でしょうか。

市町村によっても、セルフプランの扱いも違うようなので、これがあると市川市のやり方が理解しやすいと思うので。

山崎会長 : ホームページで公開されるので、それを見ていただくことは誰でも可能かと思いますが、そのことと、セルフプランを作る際に誰が支援者になるのかという問題はまた違うのではないかと思うのですが。

朝比奈委員 : セルフプランのこともあまりふれてないんですね。きりがないのでとりあえず打ち止めにしたんですが、利用者や家族に説明するのにそれ抜きでは説明できないんですね。宮本さんのご協力もいただきながら何らか反映したいと思います。

山崎会長 : セルフプランを作るときには、一義的にはどこが支援することになっているのでしょうか。

朝比奈委員 : ガイドラインの中では、障害者支援課が対応することになっています。

山崎会長 : ありがとうございます。ではこれでよろしいでしょうか。(異議なし)ではもう一つ、大きなテーマになっている「送迎」について、説明をお願いします。

松尾委員 : 生活支援部会のほうから、平成24年度第2回自立支援協議会で送迎に関するアンケート実施の承認をいただいて、昨年9月から10月にかけて実施、11月には中間報告をしましたが、このたび分析・評価をまとめることができたので報告します。(関口氏とともに、資料に基づき説明)

山崎会長 : 課題の抽出をしていただき、解決に向けての提案をしていただきました。一つ目は福祉タクシーの活用、二つ目は地域活動支援センターの送迎加算、三つ目は南部の送迎つき通所サービスの計画的整備でした。これについてご質問、ご意見はありますか。

永井委員 : これは公立施設も調査対象にしていますか？

松尾委員 : 公立施設にもご協力いただきました。

永井委員 : 私も勤務先で福祉有償運送と、法人として地域活動支援センターも運営しております。自分たちのセンターの中では全員送迎できるようにハイエースやバンなど、自分たちでできるよう努力してきました。福祉有償運送のほうでは、外出支援ができるよう、通院等の支援として許可をとってやってきました。最近では、通所・通学に関する要望が増えてきています。今は、通所先の施設や学校にご相談くださいとしています。毎年のように環境が変わる中でのご相談というのが、年度末から5月あたりにかけて多くなっています。実態としては民間の施設に通所している人の相談は少ないですが、公立施設の利用者の方からのご相談が増えていきます。ステーションまで連れて行くことができないので、家まで迎えに来て欲しいと言うご希望が増えていきます。タクシー送迎も魅力的だと思いますが、大阪の施設では既にタクシーを並べてやっているという話を聞いています。自分たちで対応することでは車もいっ

ばいでこれ以上は職員を増やさないといけないという話になってしまいます。二つ目の提案については、現状では燃料費程度にもならない額なので、相当な金額を要望することになってしまうので、現実的にどうでしょうか。三つ目の提案については確かに南部に施設が少ないので、要望としてはいいと思いますが、利用者さんの選択が優先されるので、結果としてこちらの望んだとおりになるかは未知数ですよね。

森田委員 : ありがとうございます。いま言っていた話ですが、まさにこのアンケートの出発点で、送迎の手段がなかったり、家族が動けないときにどうしたらいいかを全体で考えて、タクシー送迎で全部まかなえるわけではないけれど、いくつか選択肢を用意することで通所できる人もいるだろうということです。

植野委員 : 送迎については素人でよく分からないんですが、地域活動支援センターの役割の確認が必要と思うんです。B型であれば送迎には加算があるけれど、地域活動支援センターには市によって補助がほとんど出ないところもあります。アンケートを見ますと、地域活動支援センターのニーズが高い中で送迎が必要だと言うことは、今の補助金の中では送迎をまかなうことができないという。ということは、地域活動支援センターとしての必要性を議論する必要があるのではと思うのです。

松尾委員 : 地域活動支援センターのニーズに関してのもう少し深い分析や確認が必要と、まとめをしているときに思いました。地域活動支援センターについては、面積や人員配置要件、定員要件が比較的ゆるやかです。小規模で実施することができるのと、中身についても柔軟にできるので、当事者活動に重きをおいているところもありますし、創作活動に重きをおいているところもあるので、貴重な資源だと思います。

植野委員 : B型やA型が就労を支援して、いずれは納税できることを目指すということを目的としていますが、その前に働く意欲がまだわからないとか、自信をもつか生きる意欲を持たせることは地域活動支援センターの役割だと思います。そういう環境が必要だと思いますが。

松尾委員 : おっしゃるとおりだと思います。付け加えますとこのアンケートは、日中活動のサービスを利用している方がいる事業所を対象にしています。ですから、隠れている・・・送迎があれば通うことができる・・・人のニーズはここからは導けないんです。そういう人がたくさんいるだろうことは、えくるの報告からも明らかなんですけど、その実態はここからは分かりません。

山崎会長 : 長坂さんどうでしょう。

長坂委員 : 確実にその層は存在しています。ただ全数を押さえているわけではなくて、我々がかかわっているのはこれだけだということです。

山崎会長 : この3つの提言の取り扱いはどうしましょうか。

- 磯部委員 : 一つ目は、モデル事業の提案を自立支援協議会として認めていただいたうえで、福祉有償運送協議会に出席させていただきたいということです。
- 松尾委員 : 二つ目は自立支援協議会から、加算についてももう少し具体的な試算や地域活動支援センターの役割なども検討した上で市に提案したいということです。三つ目は、計画に関することです。この計画にしてくださいと提言することです。
- 山崎会長 : では一つずつ確認します。一つ目の提案について賛成の方は挙手をお願いします。(挙手多数) 賛成多数と認めます。
- 朝比奈委員 : 協議会には障害者支援課が入っていますよね。そのルートを活用して提案をしていただく流れでしょうか。
- 磯部委員 : まず実態をお知らせして、良いアイデアがないか伺いして、助言などもいただきたいというプランでいます。
- 山崎会長 : 二つ目の提案については前向きに検討していくことで賛成の方挙手をお願いします。(挙手多数) 賛成多数と認めます。それから三つ目の提案について、ご賛同いただける方は挙手をお願いします。(挙手多数) 賛成多数と認めます。
- 大井委員 : 一つ目の提案の中で、タクシー会社のほうで何らかの初期投資が必要な場合は、そこにも補助があったほうがいいのではないかと思うのですが。例えばバンの購入だとか。
- 山崎会長 : それは、タクシー利用が可能になった後の段階の話になりますよね。
- 大井委員 : そうですね。

【議事（5）その他】

- 山崎会長 : それでは、「その他」ということで、事務局からいくつか報告があるので、よろしくをお願いします。
- 高橋主幹 : まず、成年後見支援センターの設立や市民後見人の養成につきまして報告します。平成 22 年度に地域福祉支援課と市川市社会福祉協議会とで検討を始め、その後、障害者支援課、中核地域生活支援センターがじゅまる、基幹型支援センターえくるを加え、さらに検討を続けてまいりました。そして、ここで出していただいた意見を参考にして、今年度、予定では 9 月から、成年後見支援センターを立ち上げることを考えております。このセンターは、市が直接行うのではなく、信頼や実績等のある機関に委託する予定でおりますので、現在、そこで行う業務の内容や従事していただく方の基準等を検討しております。
- 次に、障害者週間につきましては、これまで障害者支援課が主体となってイベント等を開催してまいりましたが、昨年度は生活支援部会、障害者団体連絡会の皆様のご協力をいただき、障害の疑似体験やスタンプラリーなど、障

害の周知・啓発につながるさまざまな活動を実施していただき、これまで以上にアピールを図ることができました。そこで、今年度は、皆様から実行委員を募り、障害者週間実行委員会を立ち上げ、企画の段階から関わっていただけないかと考えております。各部会、連絡会に持ち帰り、ご検討をお願いいたします。

池澤副主幹：次に、障害者計画等の策定スケジュールについてご説明します。本市の障害者計画は、10年間の基本計画と、3年ごとの事業計画である「いちかわハートフルプラン」（第2次実施計画・第3期障害福祉計画）から構成されています。今年度は基本計画の見直しを予定していますが、法改正や社会変動等を踏まえた時点修正程度を想定しています。一方、ハートフルプランについては来年度改定を予定しておりますので、計画への反映を念頭においた議論をお願いいたします。

木塚主幹：次に、懸案事項等に対する市の考え方についてお知らせします。今回の送迎に関するご提案等に対して、市の考え方について次回にお話をさせていただきたいと思っております。併せて、これまでの懸案事項についても、市の考え方を整理してお伝えしたいと考えております。

鷺沼主幹：障害者施設課としては、2点、ご紹介とお願いをさせていただきます。まず、生活介護施設の松香園が、平成25年4月から社会福祉法人佑啓会の指定管理になりました。今日は、管理者の牧野園長から、一言ご挨拶をさせていただきます。

牧野園長：（自己紹介）利用者やご家族、関係者の皆様にご助言をいただきながら運営してまいりたいと思っておりますので、今後ともよろしく願いいたします。

鷺沼主幹：2点目のお願いですが、障害者施設課は、市内の公立障害者施設を管理している課です。公立施設はほとんどが築20年以上経過し、ソフト・ハードともに今後整備計画を立てていくこととなります。その中で、皆様のご意見が最も重要だと考えておりますので、ご本人、ご家族、当事者団体の皆様、サービス提供事業者の皆様に、アンケートを通してより良い施設整備にしたいと考えております。自立支援協議会のご協力もいただきたいので、今後もアンケートへのご協力をお願いに上がるかと思っておりますので、よろしく願いします。

植野委員：アンケートの際には、視覚障害者や盲ろう者、知的・精神障害者などへの配慮・工夫をお願いします。

朝比奈委員：アンケートの趣旨は、今後の公立施設の役割と考えていいんですか？

鷺沼委員：そうですね、ソフト面がメインになるかと思っております。広い意味では、市全体のサービスのバランスの中での役割を考えながら、整備していきたいと考えております。

山崎会長 : もし市内全体のサービスの質の向上であれば、自立支援協議会を仕切っている障害者支援課との間で、民間サービスがどこを目指しているのかという理解のうえでのアンケートになると思います。そうすると、ここにいる皆さんは全員当事者になりますし、公立施設のバージョンアップであるなら、それに皆さんは協力する立場になり、立ち位置が変わってきますので。

鷺沼主幹 : 分かりました。公立施設のバージョンアップが先ずは主眼となりますが、それに伴って市内のサービスのバランスやサービスアップを考えるとということになるかと思えます。

植野委員 : 施設の名前の話も出るのでしょうか。文化会館とか。

鷺沼主幹 : 今のところ障害者施設のことを考えていますので、市全体の施設のことまでは考えていません。ただ自由記入欄を作りたいと思いますので、そこで拾えればと思います。

三田委員 : 障害者計画に出てくる、建物と関係してくるのは公立施設のことですか。

池澤副主幹 : 計画に掲げているのは市の事業になります。計画改定に関するご意見については、反映できるものについては反映してまいります。

山崎会長 : よろしいですか。では最後になりますが、いくつかイベントの告知もあるかと思えますので、お願いします。

永井委員 : (「普通に生きる」上映会の告知)

朝比奈委員 : (「差別解消法案フォーラム」「中核地域生活支援センター大会」の告知)

山崎会長 : ありがとうございます。以上で、本日の議題は全て終了しましたので、いったん事務局にお返しします。

新正主幹 : 長時間にわたりありがとうございます。次回の協議会は、8月頃を予定しております。日時や開催場所につきましては、後日お知らせしたいと思いますので、どうぞよろしく願いいたします。事務局からは以上です。

【議事(6) 閉会】

山崎会長 : ありがとうございます。それではこれで、平成25年度第1回地域自立支援協議会を終了いたします。

【閉会 15時50分】